

一二九〇番

海の底わたそこ 沖つ玉藻おきたまもの なはなのりその花はな 妹いもと我あれと
ここにありと なはなのりその花はな

一二九一番

この岡をかに 草刈くさかる童わらは なしかか然刈りそね ありつつ
も 君きみが来きまさむ み馬草まぐさにせむ

一二九二番

江林えぼやしに 伏ふせる猪ししやも 求もとむるに良よき 白しろたへの
袖そでま巻きあげて 猪待ししまつ我わが背せ

一二九三番

あられ降ふり 遠とほつあふみ江あどかはやなぎの 吾跡川柳あどかはやなぎ 刈かれども ま
たも生おふといふ 吾跡川柳あどかはやなぎ